

王寺町立王寺南義務教育学校 太子学舎
保護者の皆様へ

王寺南義務教育学校 太子学舎
校長 眞方 武志

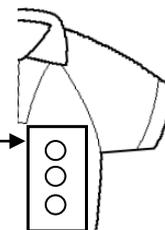
児童のくらしについて

平素は学校教育にご協力いただきありがとうございます。

子どもたちへの生活指導において、以下の事項についてご理解のうえ、ご協力よろしく お願いいたします。

《服装》教育の場であるということを考え、派手なもの、流行を追うようなものは避ける。

- 校服を着用する。また、洗い替えとして白ポロシャツを着用してもよい。
- 登下校時は黄帽を着用する。
- 名札を左胸につける。
- 靴下は、学校での活動に適したものを着用する。フリル等の装飾がある華美なものや、ルーズソックスなどの運動に適さないものは避ける。
- 入学式・卒業式または始業式・終業式等の儀式及び運動会などの行事の時は、白・黒・紺の靴下（ワンポイント可）を着用する。
- セーターを着用する場合は、黒・紺の「スクールセーター」（無地で柄・ラインなどはなし）とし、校服の上着の下に着用する。
- 厳寒期（11月ごろ～3月）、登下校の際には防寒着、長ズボン、マフラー、手袋、タイツを着用してよい。ただし、体調によってこの時期以外に着用する場合は、連絡帳等で学校に知らせる。
- 防寒着は教室でロッカー、またはランドセルにしまっておけるサイズのものにする。
- マフラーは登下校時のみ使用可とし、端を必ず校服の上着の中に入れる。
- 手袋は登下校時のみ使用可とし、原則として休み時間には着用しない。ただし、雪遊び等、状況によって、許可する場合がある。
(防寒着関係については、厳寒期前に詳細の手紙をまた配布します。)
- 髪を束ねる際は、リボンではなくゴムバンドを使用する。ヘアピンも使用してよいが、いずれも単色とし、蛍光色等の派手なものは避ける。
- 上靴は白のバレエシューズを使用し、週末に持ち帰り洗う。
- 下靴は通学や運動にふさわしいものを使用し、厚底のものや着用にかかるものは避ける。
- 体育館シューズは学校で決めた物を使用する。
- 体操服は、白の半そでトレーニングシャツ、紺のショートパンツ、赤白帽とする。
- 体操服の左胸に縦9×横6cm程度の白布を貼り、氏名を記入する。
- 体操服は、気候に応じて長そでを着用してもよい。



《持ち物》…学習活動に必要なもの以外は持ってこない。また、学用品は必要以上に高価なものや実用的でないものは避け、シンプルでしっかりとしたものにする。

- 持ち物にはすべて名前を書く。

- かばんは、背負うことのできるものを使用する。ただし、短縮校時間中で持ち物が少ない場合は手さげかばんでの登校を認める場合がある。
- シャープペンシル、色ペン、蛍光ペン、「道具」と考えにくい消しゴム、マスコットなどは持ってこない。
- ランドセルなどにはキーホルダーやマスコットなどをつけない。お守りはランドセルなどのチャックの中に入れる。
- 水筒を持参する場合は、中には水かお茶を入れる。ただし、熱中症対策として夏期(7月～運動会終了まで)は、スポーツドリンクを持ってきてよい。冷水機を使用する場合は、衛生面を考慮しコップを使って飲む。
- 体調が悪い時の薬やカイロ等の持参については、連絡帳等で学校に知らせる。
- 防犯ブザーはブザー機能だけのものとする。

《登下校》

- 登校班で決められた集合・出発時刻を守る。
- 学校へは8時00分～8時15分ごろまでに着くようにする。
- 歩道の車道から遠い側を1列または2列で整列して歩き、安全に気を付けるとともに、他の歩行者の迷惑にならないようにする。
- 決められた通学路を通る。
- 忘れ物は、登校途中でも取りに帰らない。
- 遅刻又は早退をする場合は、必ず保護者が、教室まで送り迎えをする。昨今の安全事情から、校門での送り迎えは避ける。下校時、集団下校しない場合(学童を除く)は連絡帳にて担任に伝える。
- 下校時、お迎えの場合、保護者は靴箱センターで児童を待つ。
- 欠席・遅刻・早退をする場合は、テトルにて連絡をする。

《学校でのくらし》

- あいさつをしっかりする。
- 職員室に入る時は、帽子を取り、あいさつをする。用事が済めば速やかに退室する。
- 廊下や階段は静かに右側を歩く。
- 天気がよい日はできるだけ外に出て遊ぶ。(外で遊ぶときは、帽子をかぶる。)
- 先生の許可を得ずにベランダに出たり、他の教室や特別教室に入ったりしない。

《学校外でのくらし》

- 公園のルールや公共のマナーを守る。
- 次の場所には子どもだけで行かない。
 - ・校区外・スーパーやコンビニ(お遣いはのぞく) ・池や川 ・明神山 ・菩提キャンプ場
 - ・ゲームセンターやボウリング場、カラオケなどお金を必要とする遊び場
 - ・その他、危険な場所
- 自転車の乗り方や道路の横断などは、交通ルールを守り、安全に気を付ける。
- 畠田公園では自転車に乗らない。
- 出かけるときは、必ず家の人に「だれと」「どこで」「何を」「いつ帰る」を、はっきり伝えておく。